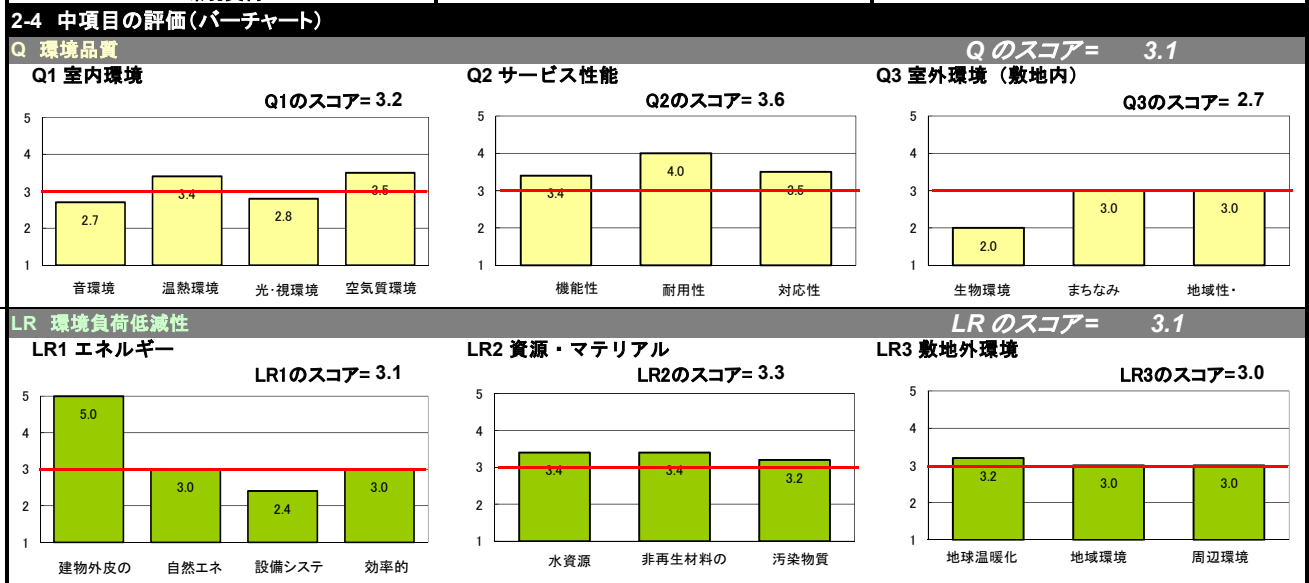
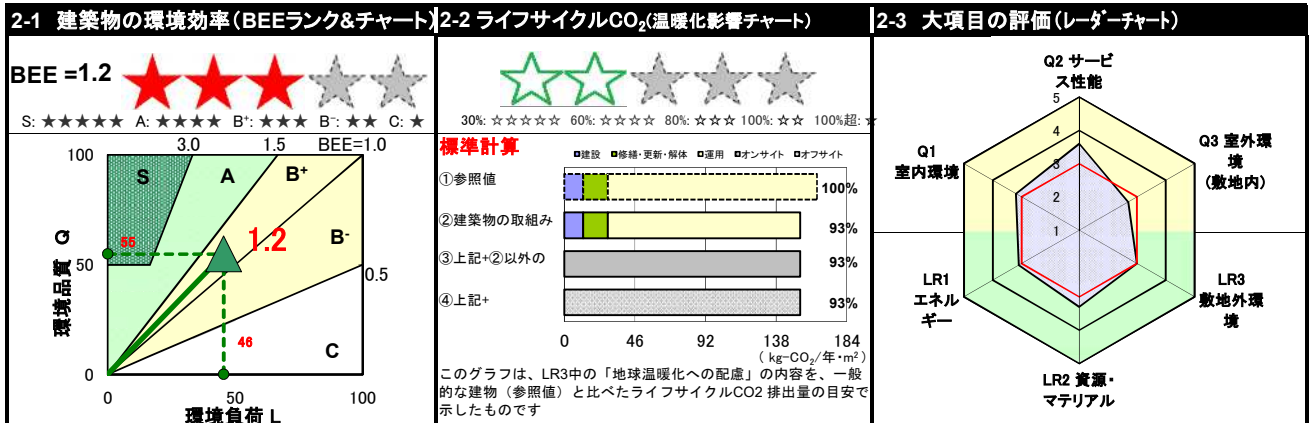


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横須賀共済病院	階数	地下1階、地上11階
建設地	神奈川県横浜須賀赤木が浜通一丁目16番1ほか21筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	3,000 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2031年6月 予定	評価の実施日	2024年7月19日
敷地面積	13,543 m ²	作成者	株式会社山下設計
建築面積	3,854 m ²	確認日	2024年7月19日
延床面積	25,386 m ²	確認者	株式会社山下設計



3 設計上の配慮事項		
総合 ・建物の継続利用性を高めるため、将来の建替えを見据えた動線及びインフラを確保する計画とした。 ・災害時でも医療機能を最大限に発揮するため、免震構造の採用、インフラの2重化、止水板の設置等対策を行う計画とした。		その他 ・特に無し
Q1 室内環境 ・病室は十分な開口面積を確保し療養環境の向上に配慮した。 ・がん診療連携拠点病院として敷地内は全面禁煙とした。 ・シックハウス基準の1.2倍以上の風量を確保した。	Q2 サービス性能 ・病室の療養環境向上のため十分な広さ・高さを確保した。 ・維持管理・更新のしやすさに配慮した材料選定とした。 ・建物の継続利用性を高めるため、免震装置の設置および十分な耐震性を確保する計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) ・生物多様性に配慮し積極的に屋上緑化面を行う計画とした。 ・まちなみとの調和に配慮し建物の色彩を選定した。
LR1 エネルギー ・建物の効率的な運用を図るため、エネルギー消費全体の半分 以上の用途構成の把握が可能な計画とした。	LR2 資源・マテリアル ・特定調達品目としてアスファルトコンクリート再生骨材、再生クラッシュラン、断熱材を採用した。	LR3 敷地外環境 ・敷地外への熱影響に配慮し屋上緑化を積極的に行った。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される